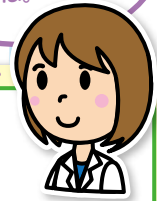


なるほど！考え方や結論を一つに絞ることではないのね。でも、どのように行えばよいのかしら？

立場によって事情がそれぞれありますね。



リスク・コミュニケーションでのあなたの役割はどんなことがあるのかな？



役割を果たすために大事なこと

① 協働が重要

※協働とは…複数の主体が同じ目的(目標)のために対等の立場で協力し合っ
て活動することです。

② コミュニケーション技術の向上

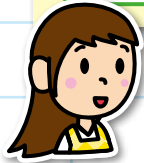
例えば、相手を否定的に評価する表現を避ける方法などがあります。

③ 相手のことを知る

相手の立場や状況を理解しましょう。常々のコミュニケーションが大切です。

④ 取り組み方を考える

目的(目標)を達成するために何をすべきか、協働してできることはありませんか？



立場や条件が変われば、リスクの捉え方や考え方も違うわよね。

その通り！それぞれのリスクの捉え方の違いがコミュニケーションに影響しているんだ。



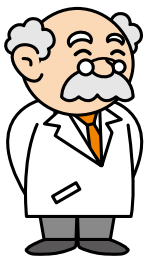
リスクの捉え方の違いとは？

ある人にとって小さいリスクを別の人が大きく捉えるのも感じ方の違いです。リスクをどのように捉えるかは、立場によって異なることがあれば、立場が同じでも、地域によっても違うことがあります。保育所で保護者かスタッフかで異なることがあるだけでなく、同じ園長という立場でも考え方が同じだとは限りません。

例えば…

牛乳を例にあげると…

客観的



- 食品からの被ばく線量の上限は年間1mSvに引き下げられました。
- 牛乳の放射性セシウム基準値は50ベクレル/kgです。
- これは安全(リスクが小さい)に飲むことのできるレベルです。

捉え方の違い

主観的



- 子どもが口にするものはより安全なものがいいわ。
- 少しでも放射性物質を含むものは気持ちが悪いため、子どもには与えられない。



上記の例のように、情報発信側は科学的なデータ(限界もあります)等を用い「今では、牛乳もリスクが小さく安全」(客観的)としても、情報受信側は「子どもの事を考えると気持ちとして受け入れ難い」(主観的)と感じます。ここにリスクの捉え方の違いがあります。